

第5章

緑化重点地区における取組

- 1 緑化重点地区の設定…………… 69
- 2 緑化重点地区における取組…………… 70



1 緑化重点地区の設定

緑化重点地区は、都市緑地法第4条第2項第8号の規定に基づき定められた緑化地域以外の区域であって重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区を示しています。緑化重点地区では、公園整備や、公共施設・民有地の緑化などに関する施策を推進します。

緑化重点地区の設定にあたっては、以下の視点に基づき地区の選定を行い、「港町・竹島地区」、「水竹地区」「大塚地区」「形原・西浦地区」の4地区を設定します。

緑化重点地区設定の視点	港町・竹島地区	水竹地区	大塚地区	形原・西浦地区
駅前等都市のシンボルとなる地区	○			
緑の少ない住宅地		○	○	○
都市の風致の維持が特に重要な地区	○	○		
防災上緑地の確保および市街地における緑化の必要性が比較的高い地区			○	○

参照：「緑の基本計画ハンドブック 令和3年改訂版」（日本公園緑地協会）

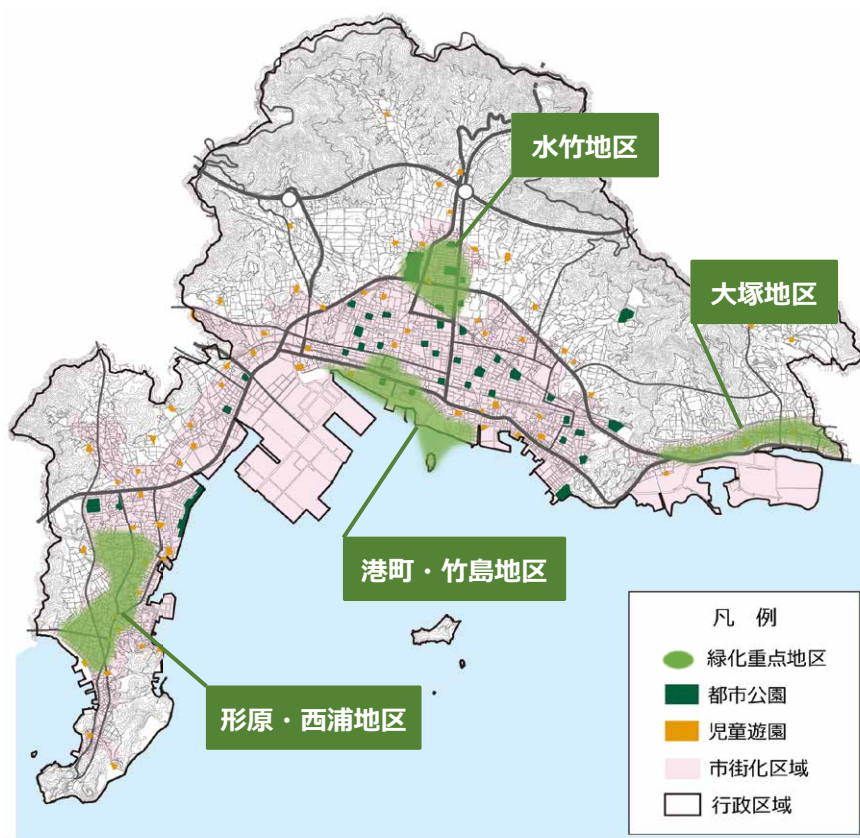


図 緑化重点地区の位置

2 緑化重点地区における取組

■港町・竹島地区（東港地区）

地区の概況	・ 主要駅である蒲郡駅、本市の観光のシンボルである竹島、蒲郡市民会館、竹島水族館、生命の海科学館などの文化・観光施設が立地し、年間を通じて多くの市民や観光客が訪れます。 ・ 観光地竹島周辺では、蒲郡市景観計画の景観重要建造物に指定された蒲郡クラシックホテルと竹島橋や、八百富神社の境内林、歴史ある景観が多く存在しています。 ・ 蒲郡駅と竹島周辺を結ぶマリンロードでは、良好な歩行空間が整備されています。 ・ 竹島ふ頭周辺では、誰もが日常的に訪れたいくなる「居心地の良い」まちづくりが進められています。 ・ 蒲郡駅北地区（駅前広場周辺）では、再開発事業により新たなまちづくりが進められています。また、蒲郡駅北地区（宝町地区）では、多様化する市民ニーズに対応するため、図書館機能、ホール機能、生涯学習センター機能を核とした複合施設整備を検討しています。
地区の課題	・ 蒲郡駅周辺と竹島地区の間を快適に回遊できる道路空間の整備が必要です。 ・ 竹島園地周辺では、観光資源や歴史・文化的資源、自然環境を活かしたまちづくりが求められています。 ・ 蒲郡駅北地区では、多くの人が訪れる本市の顔として、良好な都市景観を備えたまちづくりが求められています。
緑に関する取組	・ 蒲郡駅から竹島ふ頭に至る（都）蒲郡港線では、「歩行者利便増進制度（ほこみち）」などによる道路空間利活用の検討を進めます。 ・ 竹島ふ頭周辺の海岸沿いへ、東港地区におけるまちの骨格となる新しい緑を配置します。 ・ 多くの人が訪れる竹島園地では、あいち森と緑づくり事業を活用し景観保全を図ります。 ・ 竹島地区の海岸では、協働による清掃活動を行い、観光地におけるごみの散乱を防止し環境美化を図ります。 ・ 蒲郡駅北地区で行われる再開発事業や公共施設再編事業では、適切な緑を配置し良好な景観を備えた居心地の良い都市空間の形成を進めます。

■ 水竹地区（蒲郡中部土地区画整理事業周辺地区）

地区の概況	・ 蒲郡中部土地区画整理事業に伴い、水竹公園、新井形公園、松前公園が整備済みです。今後、一沢公園、千丸公園の整備が計画されています。 ・ 市内で最も大きな都市公園である中央公園があります。 ・ アンケート調査では、市内で好きな緑を「中央公園などの大きな公園」と回答した割合が 40%を超えています。 ・ 国道 23 号蒲郡バイパスの全線開通により、市街地を結ぶ（都）本宿線（オレンジロード）での交通量の増大が見込まれます。
地区の課題	・ 住環境向上のため、都市公園の計画的な整備が必要です。 ・ 多くの市民の憩いの場である中央公園は、施設の老朽化により魅力度が低下しています。 ・ 交通量増大により、オレンジロード沿道の住環境への影響が懸念されます。 ・ 街路樹の適切な管理が求められています。 ・ 宅地化の進展により、大雨降雨時の排水施設への負荷が高まります。
緑に関する取組	・ 都市公園および緑地の整備を計画的に行うことで住環境の向上を図ります。 ・ 都市公園では、雨水を一時的に貯留するブロックや緑地を整備することにより、周辺の排水施設への負荷の低減を図ります。 ・ （都）本宿線（オレンジロード）に植栽されたケヤキを適切に管理することで、美しい道路景観の維持、住環境の向上を図ります。 ・ 中央公園では、魅力度の向上を図るために、今後、公園の施設配置の変更や遊具および施設の見直しの検討を進めます。

■大塚地区

地区の概況	・住宅地が密集し、小規模な農地や空地が点在しています。 ・身近に利用可能な都市公園が存在せず、東大塚児童遊園地や平原チビッコ広場などが点在しています。 ・アンケート調査では、緑が豊かなまちと思わない理由を「身近に公園がないから」と回答した市民が、全市平均の約18%に対し、大塚中学校区では約40%となっています。 ・大塚中学校区では、小学校などの公共施設再編が進められます。
地区の課題	・当地区は、既に市街地が形成されていることから、新たに都市公園の用地を確保することが困難となっています。 ・市街地内に残る緑の保全が求められます。 ・緑地やオープンスペースが不足しています。
緑に関する取組	・蒲郡市立地適正化計画の居住誘導の視点から、都市公園の適地を選定します。 ・公共施設再編に伴い、生み出された土地の公園用地としての活用を検討します。 ・適正な公園の配置を進めるため、無償借地公園制度の活用を検討します。



市制70周年記念事業
がまごおり景観作品コンテスト
市長賞 受賞作品

「今年もきれいなあじさいの里」

塩津小学校4年
松下 美寧 さん

■形原・西浦地区

地区の概況	・住宅地が密集し、小規模な農地や空地が点在しています。 ・人口の高齢化が進行していますが、高齢者が身近に利用できる公園などはありません。 ・身近に利用可能な都市公園が存在せず、知柄児童遊園地や馬場チビッコ広場などが点在しています。 ・アンケート調査では、緑が豊かなまちと思わない理由を「身近に公園がないから」と回答した市民が、全市平均約 18% に対し、形原中学校区・西浦中学校区では 30%を超えています。 ・西浦中学校区および形原中学校区では、小学校などの公共施設再編が進められています。
地区の課題	・当地区は、既に市街地が形成されていることから、新たに都市公園の用地を確保することが困難となっています。 ・市街地内に残る緑の保全が求められます。 ・緑地やオープンスペースが不足しています。
緑に関する取組	・蒲郡市立地適正化計画の居住誘導の視点から、都市公園の適地を選定します。 ・公共施設再編に伴い、生み出された土地の公園用地としての活用を検討します。 ・適正な公園の配置を進めるため、無償借地公園制度の活用を検討します。

